

阪神甲子園球場 について知ろう!

はん しん こう し えん きゆうじょう
阪神甲子園球場は…

日本で最も古い野球場です!

阪神甲子園球場ができたのは1924(大正13)年8月1日。高校野球の大会を開催するためにつくられ、当時は甲子園大運動場という名前でもばれていました。

いろいろなスポーツやイベントが行われています

高校野球



朝日新聞社提供

春の「選抜大会」と、夏の「選手権大会」があります。100年近い歴史のある大会で、全国の高校球児の夢の舞台です。

プロ野球



阪神甲子園球場は阪神タイガースのホームグラウンドです。選手の活やくを見るために、たくさんのファンが集まり、感動や興奮を分かち合っています。

アメリカン
フットボール



朝日新聞社提供

毎年12月に阪神甲子園球場で行われている「甲子園ボウル」は、アメリカンフットボールの大学日本一を決める、迫力のある試合です。

コンサート・
イベント



歌手やアイドルのコンサートやイベントも行われています。グラウンドには大きなセットが組まれ、たくさんの人が集まって音楽などを楽しめます。

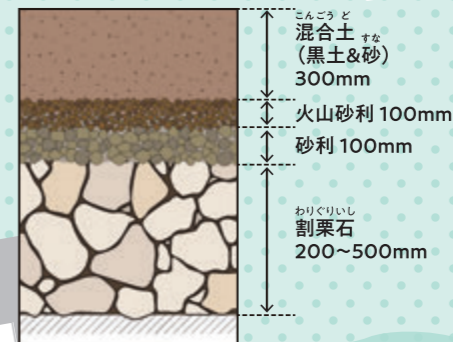


阪神甲子園球場は…



かん きょう
環境にもこだわっています!

だんめん づ
(土の断面図)



土

グラウンドの土は、全国から選ばれた黒土と白砂をバランスよく混ぜ合わせています。厚さ約30センチの土の下には、砂利や大きな石がしきつめられていて、そのおかげで阪神甲子園球場は、水はけのよいグラウンドだといわれています。

しば
芝



阪神甲子園球場の芝は1928(昭和3)年に植えられました。1982(昭和57)年からは、夏と冬に違う種類の芝を植えかえることで、一年中、緑のきれいな芝を見ることができるようになりました。

ツタ



リニューアル前



リニューアル後

阪神甲子園球場のかべをおおうツタは球場のシンボルです。2007(平成19)~2010(平成22)年に行われた球場のリニューアル工事では、ツタを取り外しましたが、リニューアル後には、全国の高校で育てられていた阪神甲子園球場のツタのなえをふたたび球場にもどしてもらったり(ツタの里帰り)、もともとあったツタを植え直したりして、ツタを復活させました。

甲子園歴史館について知ろう!

甲子園歴史館は2010(平成22)年3月に建てられました。高校野球・阪神タイガース・阪神甲子園球場の歴史を伝えることで、日本の野球をもっと盛り上げたり、野球ファンを増やしたりすることが目的です。2022(令和4)年3月には、球場の南にできた「甲子園プラス」に展示エリアの一部をうつし、さらに広くなりました。

